

KJBB神奈川支部競技規定

関東団地少年野球連盟
神奈川支部

関東連神奈川支部加盟団体の各チームは、下記規定を遵守し、支部大会の運営にご協力下さい

- 第1項 代表者会議(抽選会)は、代表者又は監督が出席し大会登録をする。
会議決定が、以降の大会運営の最終決定となります。
追加選手登録は、随時、登録用紙に追記提出で成立。(※但し、大会冊子に追加記載は不可)
ただし、支部大会のみに適用し、中央大会は中央大会の各大会規定に準ずる。
- 第2項 代表者会議で決定した日程は、原則変更しない。
但し、学校行事で大会参加の延期を申し出る場合の適用範囲は学校の正規の授業で「出欠」に
関係あるもの、のみとする。
- 第3項 日程消化のため、土曜日にも試合を行う。
- 第4項 試合延期の申し込みは、月曜日の夜までに大会運営部門へ申し出ること。
検討結果は、水曜日までに各関係チームへ連絡する。
- 第5項 大会を棄権する場合は、当該週の火曜日までに申し出ること。
検討結果は、水曜日までに関係チームへ連絡する。
- 第6項 雨天等の試合中止は、原則現地会場で連盟が決定する。
チームは、すべて現地に試合開始時間の30分前までに集合し、両チームの監督と主将が揃って、
メンバー表を試合本部に提出する。その時選手は、9名以上とする。
(※但し、プレイ可能なメンバーが8名以下となった時は、7:0のコールド負けとする)
なお当連盟の試合では、DH制度は採用しない。
当該審判員よりグラウンドルールの確認を受ける。また、攻守はそのとき主将が「じゃんけん」できめる。
ベンチは抽選番号の若いチームが一塁側に入る。前試合のコールドゲーム等により、次試合の開始を
早める場合あり。
当該チームが会場に未到着の場合、当該試合規定開始時間15分前で原則試合成立。(※棄権(7:0)とみなす)
- 第7項 試合中にベンチに入れる人員は、登録されているチーム代表者、監督、コーチ2名、スコアラー1名、
の5名(以上ベンチスタッフ)と登録選手のみに制限する。監督背番号30、コーチ背番号28・29で、
選手と同じユニフォームを着用すること。代表者、スコアラーはチーム帽子・長ズボン着用をすること。
また健康管理を目的として、介護員2名のベンチ入りも許可する。服装はチーム帽・長ズボンを着用とし、
介護員であることを明確にするため、ビブスの着用を推奨する。
- 第8項 試合当日、監督不在の場合、コーチ(28・29)の何れかが、試合前に本部に申し出て代行することができる。
- 第9項 試合は6イニングとする。試合時間は90分以内に制限し、イニングより時間を優先し延長戦は行わない。
但し、時間内3回10点差、4回以降7点差はコールドゲーム成立。
試合時間内6回で同点と時間経過後同点の場合、特別ルールを適用することがある。
その時は、ワンアウト満塁を設定し継続打順で1イニング行い勝敗を決める。
それでも同点の時は、両チームの最終プレイヤー9名による抽選で勝敗を決定する。
(※特別ルールの運用は、天候その他の事情を勘案し、連盟責任審判員が決定する)
一人の投手の1試合に於ける投球は12アウトを限度とする。
- 第10項 決勝戦の試合時間は、6イニング、90分以内とする。
但しコールドゲームは適用しない。6イニング終了、又は時間経過後同点の時は、上記第9項の
特別ルールを適用し、勝敗を決定する。
- 第11項 試合途中に於ける降雨等の対処は、すべて会場の大会責任者(連盟責任審判員を含む)が決定する。
但し試合は、4回終了時で成立する。
- 第12項 試合の記録表(イニングスコア)は、連盟担当者が記載する。
- 第13項 試合に使用される用具、機材等は「全軟連・学童部」用に記載されている物とする。
金属バット(JSBB)・木製バット(2本以上の用意を推奨)・ヘルメット(JSBB・SG)を7個以上
レガース・プロテクタ・マスク・キャッチャー用ヘルメット(JSBB・SG)・ホームベース(一般用)
注) 高反発バットの使用を禁止されている会場があるので、神奈川支部ホームページ等で確認すること
- 第14項 大会試合球は、原則連盟で用意する。
試合使用球は、全軟連公認「J号」球とする

第15項 プレイについて(危険・遅延行為の防止、マナー、その他)

- 1) 試合中の抗議は、監督(監督不在時は、当日の代行者)のみである。
- 2) シートノック(5分間)は、当日の第1試合のみとする。但し時間の関係で実施しない場合もある。
- 3) 守備側の「タイム」で試合が停止された時の投手のピッチング練習は禁止する。
- 4) 攻守交替の際、投手の投球練習は、最初回が「7球」以内、
次回以降は「4球」以内とする。また、捕手が捕手用具の装着等で時間を要する場合は、
控え選手(※コーチが立って捕球も可)が捕球し、最後の「1球」を残しておく。
- 5) ファウルボールの処理は、1塁側に止まったものは、1塁側のチーム、3塁側に止まったものは
3塁側のチーム、バックネット方向に止まったものは、原則攻撃側のチームが拾うこと。
- 6) 全ての選手は、空タッチをしないこと。
- 7) スライディングをする際は、足を高くあげたり、グラブを蹴るようなプレイをしてはならない。
- 8) 投手は、プレートを踏んで捕手のサインを受けること。
- 9) 打者は、ベンチのサインを見るために打者席をはずさないこと。
- 10) 隠し球に於けるプレイについては、全て認めない。
- 11) 投手の牽制球がグラウンド境界線(1塁・3塁線から12m以内の場合)を超えた場合、プレートを踏んでいる、
外しているに関わらずランナーの進塁権は、1つとする。(KJBB神奈川支部特別ルール)
- 12) 守備側が飛球を捕らえるため、グラウンド境界線(デッドライン)の外に踏み込む前に捕球すれば、
捕球とみなす。但しランナーがいた場合、その後、片足でも踏み込めば1つの進塁権を与える。
- 13) メガホンの使用は、監督(監督代行)のみとする。
- 14) 相手チームへの「ヤジ」等は勿論、自チーム選手への高圧的・威圧的な言動は、禁止する。
またベンチスタッフ以外の介護員・指導者・父兄等から選手に対する指示も禁止する。
- 15) ネクストバッターボックスの次打者は、ファウルボール・送球がきた時に、直ぐに避けられる状態で
待機する。なお待機中の素振りは禁止とする。
- 16) その他、当規定に記載のない事項については、「公認野球規則」・「全軟連競技者必携」に準じる。

以上、これらの競技に関する最終決定責任者は、当該会場の連盟責任審判員である。

第16項 チームは、試合当日に2名の義務審判員を派遣協力しなくてはならない。

(原則、若い抽選番号側が球審を担当 ※担当試合30分前までに本部に集合し準備体制に入る)
審判員は、チャコールグレイ・グレイ・紺・黒のスラックス系ズボン(※カーゴズボンは禁止)を着用する。
上着は、無地(白・水色・薄いグレー・黒)の審判シャツ・ワイシャツ・ポロシャツ(ワンプイント可)を着用する。
(※寒さ対策としてのチームジャンパー等の着用を可とする。但し、フード付きは不可)
靴は、球審は黒、塁審は、黒または白でも構わない。
なお各試合に於いて連盟審判員1名が責任審判として3塁審を担当する。
その他として審判員は、選手・ベンチスタッフ等に対して高圧的・威圧的な言動は、慎むこと。

義務審判ローテーションは、原則下記の通り

- | ◆2試合の場合 | 担当審判 | 原則試合時間 |
|---------|------|----------------------|
| 第1試合 | —— | 第2試合のチーム 09:00~10:30 |
| 第2試合 | —— | 第1試合のチーム 10:30~12:00 |
| ◆3試合の場合 | | |
| 第1試合 | —— | 第3試合のチーム 09:00~10:30 |
| 第2試合 | —— | 第1試合のチーム 10:30~12:00 |
| 第3試合 | —— | 第2試合のチーム 12:00~13:30 |
| ◆4試合の場合 | | |
| 第1試合 | —— | 第2試合のチーム 09:00~10:30 |
| 第2試合 | —— | 第1試合のチーム 10:30~12:00 |
| 第3試合 | —— | 第4試合のチーム 12:00~13:30 |
| 第4試合 | —— | 第3試合のチーム 13:30~15:00 |

なお1試合の場合は、連盟2名(4名の場合もあり)＋当該1名づつとする。

※準々決勝までは、原則 このローテーションで行い、準決・決勝戦は連盟審判員が対応する。

平成04年04月01日	制定
平成13年09月22日	・第6、7、8、9、10項を改定
平成15年03月08日	・第16項を改定
平成16年03月07日	・第16項を改定
平成17年05月29日	・第2、10項を改定
令和05年02月25日	・第1、7、8、9、10、13、14、15、16項を改定 ・第8項:監督証の携帯義務を廃止
令和06年04月01日	・第7項を改定 「お母さん2名」→「介護員2名」
令和07年03月01日	
・第1項追記	・追加選手登録は、随時、登録用紙に追記提出で成立。(※但し、大会冊子に追加選手は記載なし)
・第1項改定	「中央大会には出場できません」→「中央大会の各大会規定に準ずる」
・第6項改定	「選手は、10名以上とする」→「選手は、9名以上とする」
・第6項追記	・※但し、プレイ可能なメンバーが8名以下となった時は、7:0のコールド負けとする
・第6項追記	・なお当連盟の試合では、DH制度は採用しない
・第7項追記	・また健康管理を目的として、介護員2名のベンチ入りも許可する。服装はチーム帽・長ズボンを着用とし、介護員であることを明確にするため、ビブスの着用を推奨する。
・第13項追記	・注) 高反発バットの使用を禁止されている会場があるので、 神奈川支部ホームページ等で確認すること
・第15項(11)追記	・投手の牽制球がグラウンド境界線(1塁・3塁線から12m以内の場合)を超えた場合、 プレートを踏んでいる、外しているに関わらずランナーの進塁権は、1つとする。
・第15項(12)追記	・但しランナーがいた場合、その後、片足でも踏み込めば1つの進塁権を与える。
・第15項(14)追記	・相手チームへの「ヤジ」等は勿論、自チーム選手への高圧的・威圧的な 言動は禁止する。またベンチスタッフ以外の介護員・指導者・父兄等から 選手に対する指示も禁止する
・第15項(15)追記	・ネクストバッターボックスの次打者は、ファウルボール・送球がきた時に、直ぐに 避けられる状態で待機する。なお待機中の素振りは禁止とする
・第16項追記	・原則、若い抽選番号側が球審を担当 ・カーゴズボンは禁止 ・上着は、無地(白・水色・薄いグレー・黒) ・但し、フード付きは不可 ・靴は、球審は黒、塁審は、黒または白でも構わない。 ・なお各試合に於いて連盟審判員1名が責任審判として3塁審を担当する。 ・その他として審判員は、選手・ベンチスタッフ等に対して高圧的・威圧的な言動は、慎むこと。